きれい甲斐

No.101 AUGUST 2024

環境パートナーシップやまなしは、県民・事業者・行政のパートナーシップ（協働）のもと、団体間の連携や情報交換の場づくりなどを通じて、自主的な環境保全活動を積極的に展開していくことを目的として様々な活動を行っています。
環境保全に関する活動を積極的に行っている団体、個人のみなさまのご入会をお待ちしています。

環境パートナーシップやまなし
事務局●〒400-8501山梨県甲府市丸の内1丁目6-1山梨県自然共生推進課内
TEL.055-223-1634 FAX.055-223-1781 ✉shizen@pref.yamanashi.lg.jp
ホームページ パートナーシップやまなし 検索
発行責任者●企画委員長 志 村 宏 司

R70 古紙パルプ配合率70%再生紙を使用しています

令和6年度定期総会を開催

令和６年度定期総会は、対面開催としました。

役員・企画委員

会長	坂本	政彦	（一社）山梨県トラック協会		
副会長	田辺	光正	山梨県ボランティア協会	中澤	昭 山梨県農業協同組合中央会
	窪田	清	日本労働組合総連合会山梨県連合会	越石	寛 山梨県商工会議所連合会
	野口	英一	（公財）富士山をきれいにする会		
監事	浅野	正一	（一社）山梨県建設業協会	保坂	武 （一社）山梨県森林協会
企画委員長	志村	宏司	パルシステム山梨 長野		
企画委員	齋藤	正信	山梨県商工会連合会	太刀川昭二	（一社）山梨県労働者福祉協会
	長田	義男	環境に関する企業連絡協議会	三森 克人	山梨県自然保護教育振興会
	伊藤	祐寛	山梨県専修学校各種学校協会	保坂重機	（一社）山梨県老人クラブ連合会
	黒田	光秀	クロダ㈱	本田万壽男	（一社）山梨県消費者市民社会推進協議会
	齋藤	紳悟	（公社）山梨県私学教育振興会		

令和6年度事業計画

1．活動情報の交換及びネットワークづくりのための事業

（1）広報誌の発行
- 会員向けの会報的なものとし、年４回の発行を基本とします。
- 会員相互のパートナーシップを深めるため、本会の活動計画や活動報告を掲載します。
- 会員紹介や会員の特徴のある活動をＰＲし、環境活動を広めていきます。

（2）会員の募集
- 積極的な広報活動を行い、より一層の会員の拡大（募集）を図ります。

（3）ネットワークづくりのための検討
- 会員のネットワーク化及び主体的な事業参画に向けての検討を行います。

2．３Ｒ・温暖化防止対策実践活動推進のための事業
- エコライフお絵かき・川柳コンテストの開催
  省エネ、マイバッグ、マイはし、３Ｒなどの「エコライフ」を題材として、県内の幼稚園児や保育園児、小学生、中学生を対象とした「お絵かきコンテスト」を、全年齢層を対象とした「川柳コンテスト」を開催することにより、大人だけでなく子どもたちを巻き込んだ普及啓発活動を展開し、３Ｒ及び温暖化対策実践活動の推進を図ります。
- ３Ｒ推進、地球温暖化防止に関するネットワークフォーラムの開催
  県民の意識の定着化を進めるため、関係団体に働きかけ、エコライフの普及や地球温暖化防止に関するネットワークフォーラムを開催します。

3．その他
- 行政課題解決のための協働事業
- 県事業との協働及び民間活動団体に対する後援等によるネットワークの拡充

「“人と環境にやさしい交通”県民運動」、「ボランティア・ＮＰＯ活動推進月間」などに積極的に参画し、実践活動を行っていきます。

会員リレートーク Vol.50

地球と子どもに ～やさしい環境をつくろう～

光の森こども園

団体の紹介

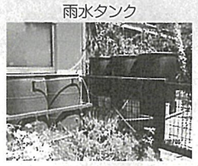
光の森こども園は、幼保連携型認定こども園として平成２７年にスタートしました。幼保連携型の認定こども園とは、幼稚園と保育園の両方をあわせもつ園で、０歳から５歳までの乳幼児が在籍しています。こども園の前は、山宮保育園として甲府市地球温暖化対策地域協議会の活動に参加協力しながら、環境活動に積極的に取り組んできました。環境にやさしい園づくり、街づくりにこれからも貢献していきます。

活動内容

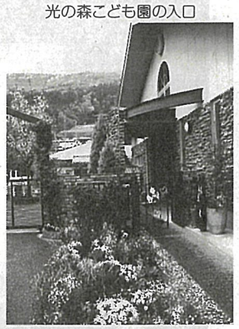
①　光の森こども園では、やさしい環境づくりの活動として以下のことを実施しています

緑のカーテンづくり、雨水タンクを利用しての水やり、ペットボトルキャップのリサイクルの取り組み、アイドリングストップの実施、木を利用した環境にやさしいペレットストーブの設置、自然太陽光発電を設置し再生可能エネルギーの活用、地域と協同でやさしい町づくりの一貫として、地域の花壇に花植えを年2回実施しています。

雨水タンク



光の森こども園の入口



緑のカーテン



ペレットストーブとそこで遊ぶ子どもたち





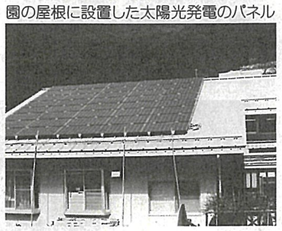


②　太陽光発電について

平成２３年7月に、甲府市地球温暖化対策地域協議会と山宮地区市民、園児保護者の協力を得て、東京電力グリーン電力基金の助成をいただき、地域の太陽光発電の普及啓発を進めるために、山宮地区に初めての市民立太陽光発電を設置しました。発電力は9，2KW。

奇しくも、平成２３年の3月11日には東北大震災となり、災害時の非常電源としても使用することができました。太陽光発電は、電力がストップした時に使える有効な手段ともなる素晴らしい再生可能エネルギーです。

園の屋根に設置した太陽光発電のパネル



③　山宮羽黒地区と協同で地域の花植え

平成２０年より地域の皆さんと協同で、地域の花壇に花植えを年２回実施しています。

園児の親子と地域の環境部の皆さんと一緒に、地域の花壇5か所に、夏は松葉ボタン、冬にはパンジーを植えています。子どもたちにとっても、大人と一緒に地域の花壇に花植えをすることで、楽しく素敵な温かい地域との交流の時間になっています。花が咲く明るくなごやかな地域環境づくりにこれからも貢献していきたいと思っています。

地域のみなさんと園とで協同して、写真のように花植えをしています。
花植えの活動は15年になります。地域の環境づくりにがんばっています。



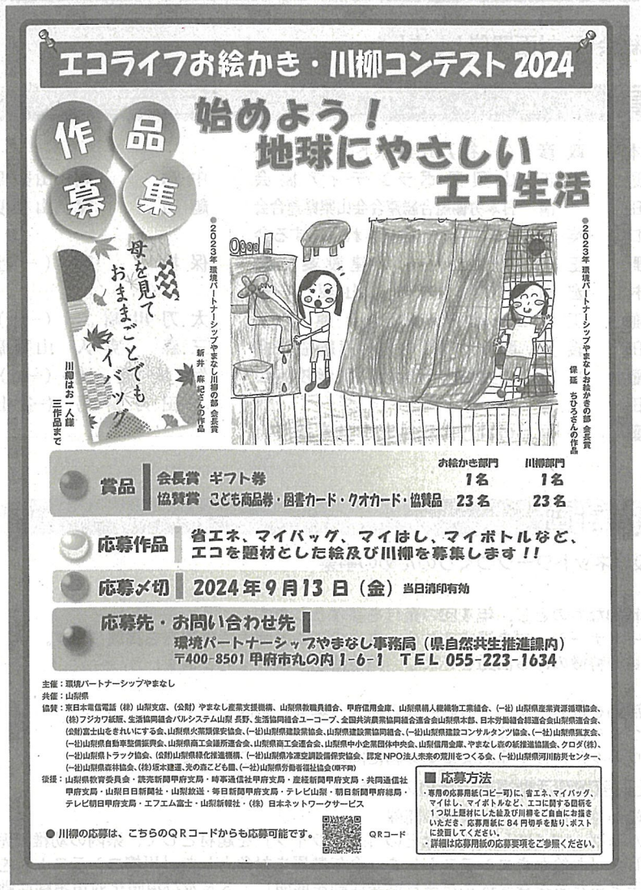




「エコライフお絵かき・川柳コンテスト2024」について

このコンテストは、県内の保育所、幼稚園、小学校、中学校の園児や児童、生徒、県内在住又は県内勤務者から省エネ、マイバッグ・マイはし・マイボトルなどエコに関する絵及び川柳を募集することにより、その製作過程を通じてライフスタイルを見直し、環境にやさしい暮らし方をしてもらうことを目的としています。

コンテストについては環境パートナーシップやまなしホームページでもご案内しています。
https://www.pref.yamanashi.jp/shizen/partnership.html



発　表　審査結果は、環境パートナーシップやまなしのホームページに掲載します。

問い合せ先　〒400-8501　甲府市丸の内1-6-1
環境パートナーシップやまなし事務局（県自然共生推進課内）
TEL　055-223-1634

県からの報告

「環境フォーラムinやまなし」が開催されました

山梨県では、5月30日から6月30日を「やまなし環境月間」と設定し、地球規模の環境問題や私達が身近にできる行動等を知ってもらい、環境保全への活動が日常生活の中に定着していくことを目的に環境フォーラムを開催しています。

今年度は、6月9日（日）に山梨県防災新館オープンスクエアで「気象から考える環境問題」をテーマに、一般向けに講演会を行いました。

約50名の皆様にご参加いただき、テレビでもおなじみの米津龍一さんの講演会は、楽しく環境について学べるものとなりました。環境について改めて考えるきっかけ作りになったかと思います。



地球温暖化の要因の1つである二酸化炭素の排出量が家庭では家電製品などからが最も多いため、こまめな節電を心がけるよう呼びかけがありました。



海無し県の山梨ですが、海洋ゴミの8割は陸から排出されたものだとして、エコバッグやマイボトルを利用して、ゴミの排出削減に取り組むことが重要と説明してくださいました。

ご参加いただいた皆様から、「山梨の環境に係る現状と具体的な課題解決に向けた取り組みがわかった」や「地球温暖化はよく耳にするけど、実際にどう影響を来すか知らなかったので、多くのことを知って学べる機会となった」など、環境フォーラムにて、環境について関心を深めていただくことができました。